

科目責任者 稲田 俊一郎（英語・言語学研究室）

授業担当者 A組：佐久間 健、B組：稲田 俊一郎、C組：未定

■教育目的（各クラス共通）

日常的な手紙や E-mail の書き方から英文エッセイまで、文法、語彙の増強、パラグラフライティングなど総合的な英語作文能力を養う。

■学習到達目標（各クラス共通）

1. 英語の文章（段落）構成に関する知識を身につけ、論理的な展開の英文エッセイを作成できるようにする。
2. E-mail や Fax、および、英文の手紙等に特有の形式を習得する。
3. 文法、語彙・語法等知識の確認を行い、できるだけわかりやすい英文の作成方法を身につける。

■授業内容

A組 佐久間 健

この授業の目的は、自分の考えを英文エッセイによって伝えるスキルの基礎を身につけることです。一学期を通して、最低3つ以上のパラグラフ（段落）から構成された英文エッセイを作成します。必要に応じて文法事項の復習も行います。

読み手に何かを伝えるためには、文章を論理的に構成しなければなりません。第一に、英語での文章構成の基礎を身につけてから、パラグラフ構成の基本を学習します。一つのパラグラフにつき一つのアイデアが鍵です。それを冒頭で表すトピック・センテンスとその内容を詰めるサポート文を用い、一貫性のあるパラグラフを書きます。第二に、幾つかの種類のパラグラフを使いこなせるよう練習を重ねます。第三に、決められたトピックに関する自分の意見をエッセイにまとめます。パラグラフを組み合わせて説得力のある構成、内容に仕上げることを目指します。

学期中に複数回レポート課題を出します。これは Word ソフトで作成した英文エッセイを e メールで提出してもらい、それを添削してコメントと共に e メールで返却する、という形で行います。従って、Windows パソコンの利用が前提です。

最後の期末試験では、このコースで学習したことの問題を出します。

準備学習（予習・復習）：

予習：テキストの指示された部分をしっかりと予習してきてください。また授業内でエッセイを書く週は、何について書きたいかネタを集めてくると作業が進むでしょう。

復習：レポートの準備は基本的に授業時間外に行います。レポートは、辞書をこまめに引き、言葉の意味を吟味しながら書いてください。また、文法事項の確認も大切です。

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：クラス参加（出欠を含む、10%）、レポート（50%）、期末試験（40%）

教科書：『Skills for Better Writing』 石谷由美子他著（南雲堂）

B組 稲田 俊一郎

様々なパターンのパラグラフ（Definition Paragraph, Cause/Effect Paragraph, Comparison/Contrast Paragraph, Narrative Paragraph 等）の実例を取り上げた配布資料を用いて、英文でのレポート・論文作成の基盤となる文章構成方法を体得する。それぞれのパターンのパラグラフについて、最低限、以下のことを行う。

- ・基本的な構成方法を理解する
- ・第一稿を作成する（復習課題）
- ・peer review を行う（授業内）
- ・第二稿を作成する（復習課題）

英文でのレポート・論文作成では、著者の意図を読み手に誤解させないよう正確に伝えることに注力することになる。自身で作成した第一稿（匿名）についてクラスの学生同士で peer review を行い（匿名）、フィードバックを得ることで、自分が書いた際の「伝わってなさ」を自覚して回避する能力を身に付ける。また、誤りを含む実例の校正に取り組むことで、英作文の際に陥りがちな誤りに自覚的になり、自力での英文校正力の向上を狙う。

準備学習（予習・復習）：予習：配布資料の語彙や表現を辞書で調べた上で授業に臨むこと（20分）

復習：授業内で行ったことを参考にして、1パラグラフ分の英作文を複数回課す（40分）。

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：期末試験（60%）、レポート（40%）で総合評価する。

その他：授業内で作文を行う場合は、ノートパソコンを持参する。いつ必要になるかは、その都度指示する。

C組 未定

- ・様々な英文をモデルとして、英文でのレポート・論文作成の基盤となる文章構成方法を体得する。
- ・いくつかのパターンのパラグラフについて、基本的な構成方法を理解する。
- ・自分の書いた英文を見直し、より良いものにしていくための推敲の仕方を身につける。

準備学習（予習・復習）：予習：テキストの中の授業時に指示する部分の語彙や表現を辞書で調べた上で授業に臨むこと（20分）

復習：授業内で行ったことを参考にして、1パラグラフ分の英作文を複数回課す（40分）。

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：・提出課題に対し、直すべき箇所や方法等をコメントする。
・期末試験（70 %）、レポート（30 %）で総合評価する。
教科書：後日掲示等にて通知する。